

精神科病院の退院患者における外来ケースマネジメントの必要性についてのスクリーニング調査

国立精神・神経医療研究センターでは、田宮病院、石川県立こころの病院、岡山県精神科医療センター、竹田総合病院、沼津中央病院、木村病院から、診療情報等の一部の提供を受け、救急病棟に入院し、3ヵ月以内に退院された方に関する研究を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。この研究課題に対し診療情報等の提供を受けることにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

①本病院を 2023 年 3 月から 10 月退院された方のうち、入院期間が 3 ヶ月未満だった方
※起算月日は病院にご確認ください。

②本病院を 2023 年 10 月以降に退院された方のうち、入院期間が 1 年以上の方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名: 田宮病院、石川県立こころの病院、岡山県精神科医療センター、竹田総合病院、沼津中央病院、木村病院

所属・氏名: 院長・丸山直樹、院長・北村立、院長・来住由樹、科長・上島雅彦、院長・杉山直也、院長・渡邊博幸

3. 試料情報を提供を行う研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: 精神科病院の退院患者における外来ケースマネジメントの必要性についてのスクリーニング調査

研究期間: 2023 年 6 月 1 日より 2028 年 3 月 31 日まで

研究代表者(研究責任者): 国立精神・神経医療研究センター(山口創生)

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

情報等: 診療録(年齢、性別、診断名、入院情報、ケースマネジメントに関する情報など)

(取得方法) カルテの診療録から入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究の目的は、外来ケースマネジメントに関する情報(症状などの情報を含む)や関連診療報酬の算定状況を調査することです。本研究は、外来ケースマネジメントの診療報酬の基礎資料となり、より良い地域ケア現を図る制度の検討に使われる予定です。政策検討で必要になった場合には、本データを 2 次利用する予定です。提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

6. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名 : 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

所属 : 地域精神保健・法制度研究部 氏名 山口創生

電話番号 : 042-346-2168

e-mail : sosei.yama※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)